

さいたま市への 企業版ふるさと納税のご案内



企業の皆様のご支援をお待ちしております！

さいたま市

もっと身近に、
もっとしあわせに



こころざしをカタチにする。

企業版ふるさと納税

とは・・・



さいたま市の事業に対し、御寄附をいただくことで、取組の充実や、企業様とさいたま市の新たな関係構築につなげる制度です。

企業様のメリット

SDGs
ESGへの寄与
企業のPRに

パートナーシップの
構築

税制優遇

最大税額9割軽減で、企業の実質負担は約1割！

令和9年度
末まで！

軽減効果

損金算入
約3割

税額控除
(住民税+法人税)
4割

税額控除
(法人事業税)
2割

寄附額

税制優遇を受けながら、社会貢献につなげられます！

★本制度に関する問合せ
都市戦略本部都市経営戦略部
TEL：048-829-1035
MAIL：toshi-keiei@city.saitama.lg.jp

事業紹介

1. 環境分野

- ① 大宮ストリートプランツプロジェクト
- ② 地球温暖化対策事業・ゼロカーボンシティの実現に向けて
- ③ 生物多様性の保全～ネイチャーポジティブの実現を目指して～

2. スポーツ・文化分野

- ④ ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム
- ⑤ ランニングイベント開催事業(さいたまマラソン)
- ⑥ さいたま市版スポーツオープンイノベーションプラットフォーム(SOIP)事業
- ⑦ (仮称)さいたまスポーツシュレ推進施設整備事業
- ⑧ さいたま国際芸術祭

3. 教育分野

- ⑨ キャリア教育における探求学習プログラム「さいたまエンジン」
- ⑩ さいたま市スマートスクールプロジェクト(SSSP)

4. 都市分野

- ⑪ さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム
- ⑫ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想

5. 経済分野

- ⑬ 東日本連携センター(まるまるひがしにほん)
- ⑭ スマート農業の推進

6. 福祉・子ども分野

- ⑮ さいたま市チームオレンジ
- ⑯ さいたま市子ども・青少年希望(ゆめ)基金



ウォーカブル×グリーンインフラ

① 大宮ストリートプランツプロジェクト

大宮ストリートプランツプロジェクトは、可動式植栽の配置により、緑豊かなストリートを形成するとともに、ベンチ等と組み合わせた居心地の良いパブリックスペースを創出し、街路空間における回遊性及び滞在性の向上を目指す取組です。

VISION

1. [大宮の歴史の発掘]

大宮周辺の植木・苗木生産地を基盤とした、緑のある街路沿道の風景を復活させ、大宮の歴史を感じさせる風景を生み出します。

2. [緑化による滞在性向上]

街路沿道の緑化によって、居心地が良く滞在性の高い街路空間を創出し、緑あるライフスタイルを生み出します。

3. [維持管理の継続]

公・民が連携した新しい仕組みで設置・維持管理を継続し、都市の緑を保ちます。



★事業に関する問合せ
都市局みどり公園推進部みどり推進課
TEL: 048-829-1423
MAIL: midori-suishin@city.saitama.lg.jp

② 地球温暖化対策事業・ゼロカーボンシティの実現に向けて

さいたま市は、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指し、市民・事業者等と連携を図りながら脱炭素化の取組を推進しています。

ペロブスカイト太陽電池等の
次世代型太陽電池の普及に向けた
取り組みを行っています

次世代自動車の普及等を通じて
持続可能な脱炭素社会の実現を目指す
「E-KIZUNA Project」を推進しています

民間事業者が太陽光発電設備・蓄電池システム
を導入する支援を行っています



★事業に関する問合せ
環境局環境共生部ゼロカーボン推進戦略課
TEL：048-829-1324
MAIL：zerocarbon-
suishinsenryaku@city.saitama.lg.jp

③ 生物多様性の保全 ～ネイチャーポジティブの実現を目指して～

ネイチャーポジティブとは、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復軌道にのせることを目指す概念で、2022年の生物多様性条約締約国会議COP15において世界目標として採択されました。

さいたま市では、大宮南部浄化センター(見沼区)にある「みぬま見聞館」を環境教育の拠点として、生物多様性の保全の大切さを学び、体験する様々な学習プログラムを提供するなど、さいたま市の貴重な自然を次世代へと継承していくための取組を推進しています。



温室効果ガス削減と健全な生態系の保全を安定的かつ効果的に進めるため、ゼロカーボン・生物多様性基金を設置しています。



<https://www.city.saitama.lg.jp/001/009/001/p120260.html>

★事業に関する問合せ
環境局環境共生部環境対策課
TEL: 048-829-1331
MAIL: kankyo-taisaku@city.saitama.lg.jp

④ ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム

世界最高峰のサイクルロードレースとして知られる「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車競技イベントです。本大会で各賞を獲得するなど大活躍したトップライダーが集結し、さいたま新都心の特設コースで熱戦を繰り広げます。

市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、「スポーツのまち さいたま」の実現を図ることを目的として開催しています。



©SSC



©SSC

★事業に関する問合せ
スポーツ文化局スポーツ部スポーツイベント課
TEL: 048-829-1730
MAIL: sports-event@city.saitama.lg.jp

⑤ ランニングイベント開催事業（さいたまマラソン）

マラソンの部、8kmの部、車いすの部、エンジョイランの部、親子ランの部と、子どもから大人まで、また初心者から上級者まで、多くの市民が楽しめるランニングイベントです。

「スポーツのまち さいたま」の実現に向け、市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、生涯スポーツの振興を推進することを目的として開催しています。



★事業に関する問合せ
スポーツ文化局スポーツ部スポーツイベント課
TEL: 048-829-1730
MAIL: sports-event@city.saitama.lg.jp

⑥ さいたま市版スポーツオープンイノベーションプラットフォーム (SOIP) 事業

さいたまスポーツシュレ事業^(注)の一環として、『スポーツのまち さいたま』をビジネス分野から実現するため、新たなスポーツビジネスの事業化とスポーツを通じた社会課題の解決を図ることを目指すプロジェクトです。

現在、5つの推進テーマを設定し、スポーツの力を活用した新たなビジネスの創出に取り組んでいます。

【注】【さいたまスポーツシュレ】とは

市内に集積するスポーツ施設群を中心に、市内の宿泊・研修施設等をネットワーク化することで、市民やアスリート等がスポーツを「する場」、「学ぶ場」を確保するとともに、企業・大学・団体等が最新の知見や技術をスポーツに取り入れる「実証の場」を構築するための仕組み。

【5つの推進テーマ】

- 市内未活用アセットを活用したスポーツ分野での連携創出
- With/Afterコロナ時代を見据えた新たなスポーツ産業のモデル組成
- スポーツテックを活用したヘルスケア産業の創出
- 女子スポーツを軸とした新事業の創出
- 新たな部活動の形づくり



出所：スポーツ庁HP「スポーツオープンイノベーションの推進」

★事業に関する問合せ
スポーツ文化局スポーツ部スポーツ政策室
TEL：048-829-1737
MAIL：sports-seisaku@city.saitama.lg.jp

⑦（仮称）さいたまスポーツシュール推進施設整備事業

健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」を実現するために、さいたまスポーツシュール^(注)のハブとなる、「（仮称）さいたまスポーツシュール推進施設」の整備を検討しています。

本施設は、市民やアスリートのフィジカルデータの収集・分析を基盤としながら、指導者人材の育成や相談支援体制の確保等により、市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことやアスリートのスポーツ活動を支える拠点として整備するもので、同時に、市民や様々なアスリートが集うことで、あらゆるスポーツの発展を支え、スポーツによる対流や交流を促す拠点として整備するものです。

（注）【さいたまスポーツシュール】とは

市内に集積するスポーツ施設群を中心に、市内の宿泊・研修施設等をネットワーク化することで、市民やアスリート等がスポーツを「する場」、「学ぶ場」を確保するとともに、企業・大学・団体等が最新の知見や技術をスポーツに取り入れる「実証の場」を構築するための仕組み。

【整備予定地】 旧埼玉県衛生研究所跡地（桜区大字上大久保）



スポーツのまち さいたまの実現

未来につなぐさいたまスポーツ文化の発展と継承

さいたまスポーツシュール推進施設

- 市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことを支え、トップアスリート支えるための知の集積
- あらゆるスポーツの発展を支え、スポーツによる国内外の対流・交流を加速

スポーツ人材の育成

持続可能な
スポーツ環境の整備

スポーツビジネス・スポ
ーツ産業の創出・活性化

★事業に関する問合せ
スポーツ文化局スポーツ部スポーツ政策室
TEL：048-829-1737
MAIL：sports-seisaku@city.saitama.lg.jp

⑧ さいたま国際芸術祭

さいたま市では、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市を創造するため、平成24年に「さいたま市文化芸術都市創造条例」を施行し、その理念を具現化するため、平成26年に「さいたま市文化芸術都市創造計画」を策定しました。

この計画の重点プロジェクトの一つとして、さいたま市の魅力である文化芸術を活用した多様な交流を促進するため、市民参加型の特色のある国際芸術祭を開催しています。

さいたまトリエンナーレ2016

開催期間：2016年9月～12月

参加者数：のべ427,334人



アイガルス・ピクシェ、《さいたまビジネスマン》
さいたまトリエンナーレ2016 撮影：Aredibo 忽羽院一郎

さいたま国際芸術祭2020

開催期間：2020年10月～11月

参加者数：のべ403,641人



フランク・ブラジガンド、《旧家の修復-旧大宮区役所》、2020年
さいたま国際芸術祭2020 Photo：丸尾隆一

さいたま国際芸術祭2023

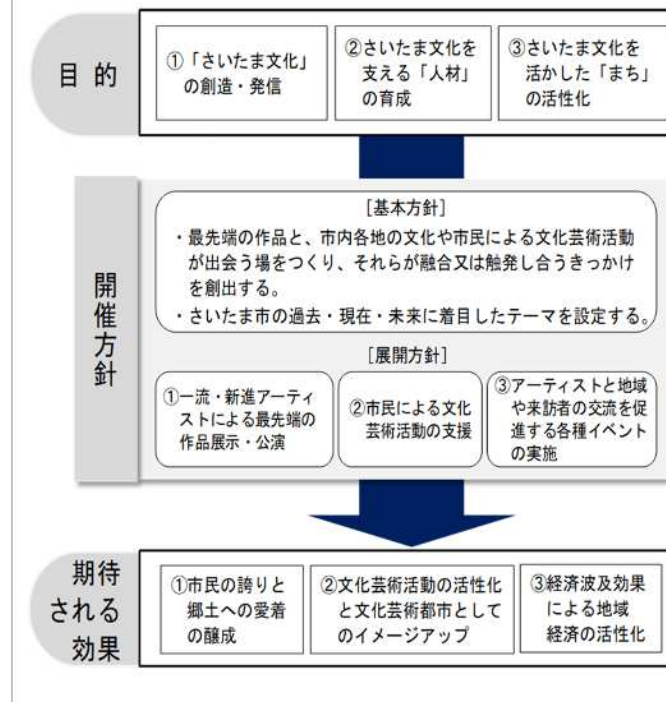
開催期間：2023年10月～12月

参加者数：のべ490,820人



メイン会場（旧市民会館おおみや）
さいたま国際芸術祭2023

■「さいたま国際芸術祭」開催に向けた基本的な考え方[イメージ図]



★事業に関する問合せ

スポーツ文化局文化部文化政策室

T E L：048-829-1225

MAIL：bunka-seisaku@city.saitama.lg.jp

⑨ キャリア教育における探究学習プログラム 「さいたまエンジン」

「さいたまエンジン」とは

- 市立中学生が企業、地域のリソースをかけ合わせて新しい可能性を発見し、企業にイノベーション企画を提案するプログラムです。
- 生徒が地域・社会や産業界と深く関わりながら、主体的に、当事者意識をもってビジネス提案を行う問題解決型学習（PBL）のプログラムです。



（イメージ）
自動車のエンジン

【目指す資質・能力】

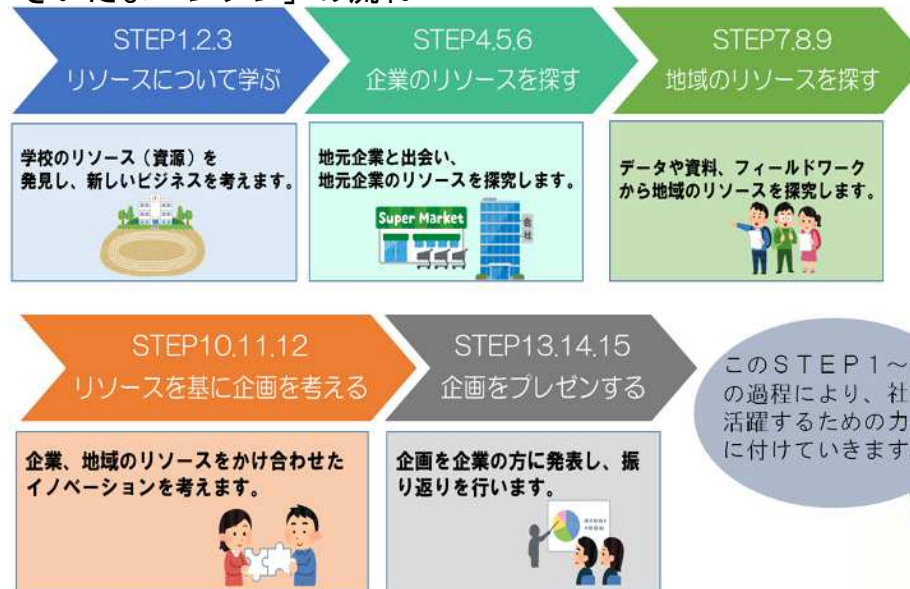
●「起業家精神」

チャレンジ精神 創造性 探究心

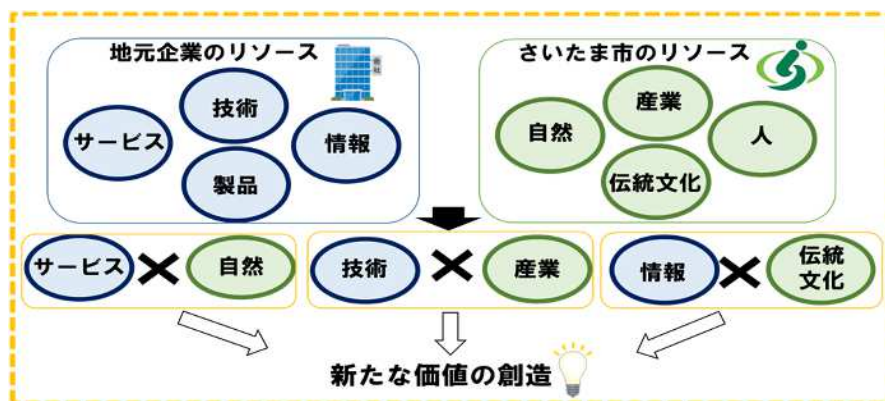
●「起業家的資質・能力」

情報収集 分析力・判断力 実行力 リーダーシップ コミュニケーション力
＝起業家や経営者だけに必要なものでなく、どのような立場にあっても社会で活躍するために必要な力

「さいたまエンジン」の流れ



「さいたまエンジン」による探究的な学習（PBL）



★事業に関する問合せ
教育委員会学校教育課程指導課
TEL: 048-829-1661
MAIL: kyoikukateishido@city.saitama.lg.jp

⑩ さいたま市スマートスクールプロジェクト (SSSP)

1 SSSPが目指すビジョン

『一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、
新たな価値を創造していく力をはぐくむ教育の実現』

国では、デジタル社会を見据え、教育DXによるすべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を掲げています。そして、令和7年6月には、デジタル庁や文部科学省をはじめとする関係省庁による「教育DXロードマップ」が示されました。

このような背景を受けて、「一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、新たな価値を創造していく力をはぐくむ教育の実現」をビジョンに掲げました。

2 SSSPのコンセプト

ビジョンの実現に向けては3つの改革をコンセプトとしています。

子どもたちが自分らしい学び方を選んでいる姿を目指し、主体性の育成を行う、「**学び方の改革**」。

教師が子どもたちの主体的な学びの伴走者になっている姿を目指し、

指導力向上・授業改善を行う「**教え方の改革**」。

教師と子どもが向き合う時間を確保することを目指し、業務改善を行う「**働き方の改革**」です。



3 協力企業との連携について



本プロジェクトの推進に当たっては、各分野のリーディングカンパニーである協力企業から、各社の強みを生かしたソリューションと強力な支援をいただきます。

4 変わる学びの姿

教科書や動画・プリントなど、課題の解決に使用する資料や、学習のめあて、ペースなどを子どもが自分で判断して選択するなど、**子どもの特性や興味関心に応じた主体的な学び**を目指しています。

子どもの学習の進捗状況は**クラウドで可視化**され、同じクラスの子どもたちや教師と共有されています。これによって、子どもたちは**お互いの学びを参考**にすることができ、さらに、教師はクラウド上で子どもの学びの様子を見取ったり、子どもの様子を実際に目で見て確かめたりして必要に応じて個別に支援を行います。



★事業に関する問合せ
さいたま市立教育研究所
TEL : 048-838-0781
MAIL : kyoiku-kenkyujyo@city.saitama.lg.jp

⑪ さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

公民学連携により、ビッグデータやAI、IoT等の先進技術を活用した事業に取り組むことで、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりの実現を目指します。

Well-being

市民のウェルビーイングな暮らしを実現する



モビリティサービスによりだれもが移動しやすく「人にも環境にもやさしい」ウォーカブルな都市空間・環境の構築をコンセプトに、スマートシティサービスの更なる「シンカ」の推進とスマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築の取組を推進しています。

SMART CITY
SAITAMA

★事業に関する問合せ
都市局都市計画部都市総務課
TEL: 048-829-1394
MAIL: toshi-somu@city.saitama.lg.jp

⑫ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想

大宮駅グランドセントラルステーション化構想は、都心である大宮駅周辺において、「駅周辺街区のまちづくり」、「交通基盤整備」及び「駅機能の高度化」を三位一体で推進しています。また、駅周辺では様々なまちづくりが動いており、多くの企業の皆さんの進出を支える基盤整備を進めています。

1. 駅周辺街区のまちづくり

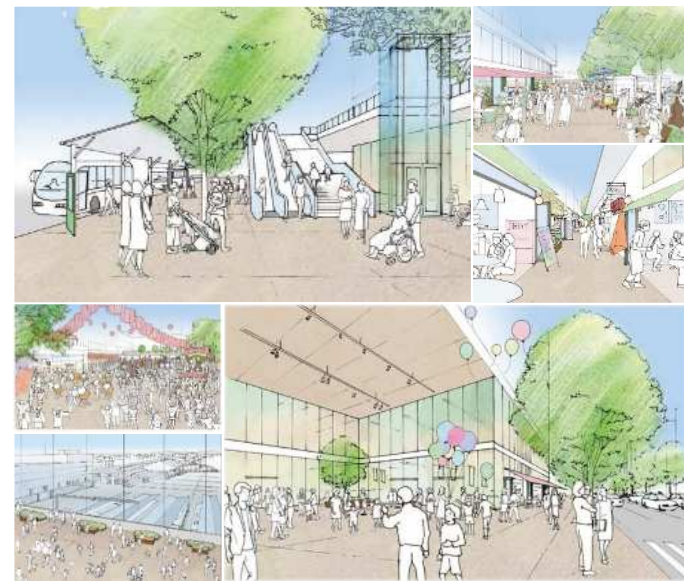
駅前地区では、再開発事業等によるまちづくりを進め、共同化した建物や広場空間等を整備し、新しい大宮の顔を形成します。

2. 交通基盤整備

バスやタクシーなどの公共交通と一般車の錯綜を整理し、歩行者が歩きやすい交通広場として再整備します。また、駅と街区をつなぐデッキ整備など駅前空間の一体性を高めます。

3. 駅機能の高度化

新たに駅東西を結ぶ通路を整備し、ＪＲ、東武、ニューシャトルの乗り換えを便利にします。



★事業に関する問合せ
都市局都心整備部東日本交流拠点整備課
TEL：048-646-3281
MAIL：higashinihon-kyoten-seibi@city.saitama.lg.jp

⑬ 東日本連携センター（まるまるひがしにほん）

東日本連携センター（まるまるひがしにほん）は、「東日本の玄関口」であるさいたま市の地理的優位性を活かし、東日本の「ヒト・モノ・情報」の交流・発信を促進し、さいたま市を含めた東日本地域の経済交流の活性化、地方創生の実現に寄与することを目的とした施設です。

開設以来、シティプロモーションの場として、さいたま市や東日本の魅力を広く発信するとともに、ビジネス交流の場として、東日本各地の事業者と市内事業者の取引拡大を支援しています。



シティプロモーション



東日本の自治体等が、特産品販売、テストマーケティング、観光PR等、様々なイベントを開催しています。東日本地域の人々と交流ができるのも大きな魅力です。東日本の日本酒が常時16種類が試飲できる有料の「酒サーバー」も大変人気です。

ビジネス交流サロン



東日本の自治体や企業同士のビジネス交流を支援しています。商談会や会議、研修会、セミナー、ワークショップ等、様々なビジネスシーンに合わせた幅広い活用が可能であり、コワーキングスペースとしても活用できます。

★事業に関する問合せ
経済局商工観光部経済政策課
TEL: 048-829-1401
MAIL: keizai-seisaku@city.saitama.lg.jp

⑭ スマート農業の推進

農業就業人口の減少や高齢化、後継者の不足が進む中、AIやスマート農業等の先進技術の導入による、効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指します。

先進技術に関する試験栽培の実施、展示会・実演会及び研修会の開催を通じた農業者への情報発信を行います。



試験栽培の実施



展示会・実演会の開催



研修会の開催

★事業に関する問合せ
経済局農業政策部見沼グリーンセンター
TEL: 048-664-5915
MAIL: minuma-green-center@city.saitama.lg.jp

⑮ さいたま市チームオレンジ

さいたま市チームオレンジは、認知症との共生社会の実現に向けて、認知症の人の社会参加の場の創出と日常生活で接点のある企業・団体との連携を促進する取組です。

1. チームおれんじ

認知症の人の声や意見を基に、認知症の人と地域住民等が共に活動する自主活動

▶ 認知症の人の社会参加の創出



2. 認知症フレンドリー企業団体

認知症への理解や支援、認知症の人が利用しやすいサービスや製品開発、環境整備などを実践する企業・団体

▶ 認知症バリアフリー・ 多様な主体との連携



3. 認知症フレンドリーまちづくりセンター

さいたま市チームオレンジの推進主体として、企業や地域の活動、交流を支援します

知る (情報発信機能)

認知症に関する最新の知見、イベントや地域活動の情報をポータルサイトなどを通じて、発信

学ぶ (人材育成機能)

認知症サポーター養成講座など、認知症の理解や実践を促す講座や研修の開催



(活動支援機能) 活動する

認知症の人や家族、地域住民などが行う地域活動や認知症の理解や支援を行う企業・団体などへの支援

(交流促進機能) 交流する

認知症の人を含む地域と企業・団体が連携し、認知症と共生するまちづくりを行っていくための機会づくりの支援

★事業に関する問合せ
福祉局長寿応援部いきいき長寿推進課
TEL: 048-829-1286
MAIL: ikiiki-choju-suishin@city.saitama.lg.jp

①⑥ さいたま市子ども・青少年希望（ゆめ）基金

さいたま市の未来を担う子ども・青少年が生まれ育った環境に左右されることなく、その個性が尊重され、健やかに育ち、自立し、夢と希望を持ち、輝けるよう、子ども・青少年を社会全体で育む取組を安定的かつ継続的に進めることを目的として、令和6年4月1日に創設しました。

いただいた御寄附は、困難を抱える子ども・青少年・子育て家庭の支援や、体験活動などを通じた子ども・青少年の健全育成に関する事業に活用します。

令和6年度活用実績

▶子ども食堂やフードパントリーなどの支援



▶子どもたちが話し合っ児童センターの図書を購入



活用する事業は今後拡大していく予定です！

令和7年度は子ども・若者ワークショップや、
低所得の子育て世帯への進学支援金にも活用します！

★事業に関する問合せ
子ども未来局子ども育成部子ども・青少年政策課
TEL：048-829-1909
MAIL：kodomo-seishonen@city.saitama.lg.jp

■ 注意事項

- さいたま市に本社が所在する企業からの御寄附については、本税制の対象となりません。
- 1回当たり10万円以上の御寄附が対象となります。
- 御寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- 本制度の対象期間は令和2年度から令和9年度までです。
- さいたま市が「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を実施する前であっても、国に認定された地域再生計画に記載の「寄附（受入れ）の金額の目安」の範囲内であれば、事業費確定前の寄附が可能です。当該「目安」を超える御寄附をいただく場合は、事業費確定後に事業費の範囲内での受領となります。

■ 寄附の流れ



【問合せ】 さいたま市役所 都市戦略本部 都市経営戦略部
TEL：048-829-1035
MAIL：toshi-keiei@city.saitama.lg.jp

▼企業版ふるさと納税については以下で検索できます！

